漢文　重要語句一覧　一枚目（単元1～4・1～48）　【パスメモリア公式】　学習日　月　日

番	語	読み（カタカナは送り仮名）	意味	備考・古典例文
1	愛	①をしム　②あいス	①惜しむ・大切にする　②かわいがる・愛する	財物や時間を惜しむ意が頻出。例「百姓皆王を以て愛しむと為す。」
2	恨	うらム	◇残念に思う・悔やむ　◇人を恨む	漢文では「残念に思う・悔やむ」が最頻出。例「吾嘗通の計を用ひざりしを恨む。」
3	憐	あはれム	◇かわいがる・愛でる　◇あわれむ・同情する	文脈で「愛でる」と「同情する」を識別。例「独り憐れむ幽草の澗辺に生ふるを。」
4	厭	①あク（あきたル）　②いとフ	①満足する・飽きる　②嫌がる・避ける	否定を伴う「厭くこと無し（満足しない）」が頻出。例「戦陣の間、詐偽を厭はず。」
5	悪	①にくム　②いづクンゾ	①憎む・嫌う　②どうして～か（いや～ない）	名詞「悪（あく）」との読み分けに注意。例「貧と賤とは、是れ人の悪む所なり。」
6	疾	①にくム　②やム　③とシ	①憎む・ねたむ　②病気になる　③速い・激しい	「疾風」は速い風。動詞は「憎む・病む」。例「己より賢れるを恐れ、之を疾む。」
7	説	①よろこブ　②とク	①喜ぶ（悦と同じ）　②意見を述べ説得する	動詞は「尊ぶ」、副詞は「やはり・なお」。例「賢を尚ばざれば、民をして争はざらしむ。」
8	尚	①たっとブ　②なホ	①尊ぶ・重んじる　②やはり・なお	「よろこブ」は「悦」に同じ。例「秦王之を聞き、大いに説ぶ。」
9	望	のぞム	◇遠くを見渡す　◇期待する　◇恨む	期待が外れて「恨む」になる別義に注意。例「吾嘗て跂ちて望む。」
10	謝	①わブ　②ことわリス　③しゃ④しゃス・さル	①謝罪する　②辞退する・断る　③礼を言う・告げる　④いとまごいをする・去る	問1最頻出の多義動詞。例「旦日蚤く自ら来たりて項王に謝せざるべからず。」
11	辞	①じス（いなム）　②じス	①辞退する・断る　②いとまごいをする・別れを告げて去る	「じス」と音読みするのが基本。名詞「ことば（辞を卑しくす）」も重要。例「之に粟九百を与ふれば、辞す。」
12	対	こたフ	◇目上の問いに答える　◇向かい合う	「対へて曰はく」で目上に答える関係を示す。例「孟子対へて曰はく。」
13	道・言・曰・云・謂	いフ	言う・心中の思いを述べる（主君や目上の人の）過ちをいさめる	※「謂」は「おもフ（思う・みなす）」とも読む。例「人の善を道ふを楽しむ。」　※名詞「諫言（かんげん）」は主君への忠告の言葉。例「群臣死を冒して王を諫む。」
14	諫	いさム		
15	質	①ただス　②しち　③しつ	①是非を問いただす　②人質　③実質・素質	「文（飾り）と質（実質）」の対比も重要。例「酒を載せて師を訪ね、疑はしきを質す。」
16	度	①はかル　②わたル	①推し量る・見積もる　②渡る・越える	推量の「はかル」と移動の「わたル」。例「春風度らず玉門関。」
17	顧	①かへりミル　②たダ　③かへツテ	①振り返り気にかける　②ただ・ただし　③かえって・反対に	副詞「たダ」「かへツテ（反対に）」が超頻出。例「先帝、三たび臣を草廬の中に顧みる。」
18	陽・偽	いつはル	◇～のふりをする　◇偽る・欺く	「陽りて～す」でうわべだけ～のふりをする。例「陽りて懐王を尊びて義帝と為す。」
19	亡	①ほろブ・ほろぼス　②にグ　③なシ	①滅びる・滅ぼす　②逃げる　③いない・ない	「にグ（逃亡）」「なシ（不在）」「うしなフ（失）」の識別が最頻出。例「馬故無くして亡げて胡に入る。」
20	見	①あらはル　②みル　③まみユ	①現れる・露見する　②見る　③お目にかかる	「あらはル（現）」「まみユ（謁見）」が頻出。例「其の末立ちどころに見る。」
21	過	①あやまツ　②すグ　③よぎル	①過ちを犯す・間違える　②通り過ぎる・超える　③立ち寄る	比較「此に過ぐるは莫し（上回る）」や訪問「よぎル」も頻出。例「過ちては則ち改むるに憚ること勿かれ。」
22	易	①かフ　②やすシ　③あなどル	①取り替える・変える　②たやすい　③軽んじて侮る	相手を目的語にとる「あなどル（軽視）」に注意。例「羊を以て之に易へよ。」
23	雪	すすグ	恥や無実の罪をすすぐ・晴らす	「恥を雪ぐ（すすグ）」の形で頻出。例「遂に会稽の恥を雪ぐ。」
24	中	①あツ　②あたル	①命中させる・あてる　②的中する・合致する	「百発百中」「事の機に中る（あたル）」。例「百たび発して百たび中つ。」
25	之・行・往・如・適・逝・征	ゆク	行く・向かう	※「逝」のみ「去って戻らない・死ぬ」の意も持つ。例「子、衛に適く。」
26	去	①さル　②へだツ	①立ち去る・離れる・取り除く　②距離を隔てる	出発点から離れるのが原義。例「孟嘗君の廃せらるるや、諸客皆去る。」
27	走	①にグ　②はしル	①逃げる・敗走する　②走る・急いで駆けつける	戦場の文脈では「にグ（逃げる）」。例「甲を棄て兵を曳きて走る。」
28	北	①にグ　②そむク	①敗走する・逃げる　②背を向ける・背く	背中合わせの象形から「敗走する・背く」。例「三たび戦ひて三たび北ぐ。」
29	前	すすム	前へ進み出る・前進する	君主や相手の前に進み出る場面で頻出。例「相如前みて曰はく。」
30	舎	①おク　②すツ	①そのまま置く・とどまる・やめる　②捨てる・見捨てる	「おク（放置・とどまる）」「すツ（釈・捨と同じ）」。名詞「客舎」は宿屋。例「牛を舎てて羊を以て之に易へよ。」
31	修	をさム	◇学問や徳を磨き修める　◇整える	「身を修む」など学徳を磨き整えること。例「先づ其の身を修む。」
32	治	をさム	◇平穏に統治する　◇罪を調べ処罰する	国を統治する意と「罪を治む（処罰する）」。例「大国を治むるは小鮮を烹るがごとし。」
33	窮	①きはム　②きはマル	①突き詰める・極める　②困窮する・行き詰まる	「きはム（極）」と「きはマル（困窮）」。例「欲を窮め贅沢を尽くす。」
34	全	まったクス	欠けることなく完全に保つ・命や使命を無事にまっとうする	「璧を全くす」「天年を全くす」で頻出。例「臣請ふ璧を全くして趙に帰さん。」
35	食	①やしなフ　②くらフ	①食べさせて養う・飼育する　②食べる	人を目的語にとれば「やしなフ（養う）」。例「孟嘗君、客を食ふこと数千人なり。」
36	卒	①しゅっス　②をフ・をはル	①死ぬ・亡くなる　②終える・終わる	副詞では「つひニ（終）」「にはカニ（俄）」。例「言未だ卒へざるに、王大いに怒る。」
37	事	①つかフ　②ことトス	①目上の人に仕える　②仕事とする・専念する	目上に仕える「つかフ」と専念する「ことトス」。例「父母に事へては能く其の力を竭くす。」
38	與・与	①くみス　②あづかル　③と・ともニ	①味方する・賛同する　②参加する・関与する　③～と・一緒に	読みと意味の識別が最頻出。例「死して悔ゆる無き者は、吾与せざるなり。」
39	党	くみス・とうス	◇徒党を組む　◇えこひいきして味方する	君主や相手の前に進み出る場面で頻出。例「相如前みて曰はく。」
40	将	①ひきヰル　②はタ	①軍勢を率いる・従える　②それともまた	再読「まさニ～ントス」以外の重要用法。例「名将、大軍を将ゐて東のかた敵を撃つ。」
41	伐	①うツ　②ほこル	①大義を立てて討伐する　②自分の功績を誇る	「功に伐らず（ほこラズ・自慢しない）」は頻出。例「聖人は自ら伐らざるが故に功有り。」
42	弑	しいス	臣下や子が君主や親など目上の者を殺す	「弑逆」に同じ。下克上の殺害に限定。例「趙盾其の君を弑す。」
43	①誅・②戮	①ちゅうス　②りくス	①罪を責めて処刑する　②処刑してさらし者にする	罪人を処罰する語（「弑」は下克上の殺害）。「戮」は恥辱の意も持つ。例「罪有る者は必ず誅す。」
44	遺	①のこス・すツ　②わすル　③おくル	①残す・見捨てる　②忘れる　③贈る	入試最頻出の多義動詞。相手と物を伴えば「おくル（贈る）」。例「大夫種に書を遺りて曰はく。」
45	肯	①がへんズ・うべなフ　②あへテ	①承諾する・うなずく　②進んで～する気がある	「不レ肯（がへんゼず・承諾しない）」で頻出。例「再三之を請へども、彼終に肯んぜず。」
46	勝	①たフ　②あげテ　③かツ	①堪える・勝る　②すべて～しきる　③勝利する	「能く（よク）」「不レ能（あたハず）」。例「善く游ぐ者は能く溺るる。」
47	能	①よク　②あたフ	①うまく～できる　②可能である・～できる	「喜びに勝へず」「勝げて計ふべからず」。例「臣は栝柘に勝へず。」
48	敢	あへテ	◇進んで～する　◇決して～しない　◇恐れながら	「敢へて問ふ（恐れながら）」「敢へて～ず（決して～ない）」。例「敢へて毀傷せず。」